

羽島市のスポーツ振興について

1. 競技スポーツの推進について

(1) トップアスリートによるスポーツ教室の実施（年3回）

①バスケットボール教室 6月24日（土）実施

- ・岐阜スүүプスの選手を講師に招き、市内小学生対象にバスケットボール教室を実施した。100名以上の申し込みがあり、当日の教室では、児童のレベルに合わせて工夫した楽しい練習をするなど大変盛り上がった。

②フライングディスク教室 10～11月（実施予定）

- ・羽島特別支援学校及び岐阜県障害者スポーツ協会と連携し、市内小中学校の特別支援学級の児童生徒及び羽島特別支援学校の生徒対象にフライングディスク教室を実施する。

③サッカー教室 11～12月（実施予定）

- ・FC岐阜のスクールコーチを講師に招き、市内の小中学生対象にサッカー教室を実施する。

(2) トップアスリート強化指定

①強化指定団体

- ・ソフトボール競技 1団体
- ・フェンシング競技 1団体

②特別強化指定選手

- ・陸上競技 短距離走 1名

③強化指定選手

- ・アーチェリー競技 1名
- ・陸上競技 パラ投擲 1名

2. 生涯スポーツの推進について

(1) ぎふ清流レクリエーションフェスティバル及び

羽島市レクリエーションフェスティバル

- ・岐阜県及び羽島市レクリエーション協会がフェスティバルを通して、市民に様々なレクリエーション体験等ができる。

(2) 羽島市ファミリースポーツ広場

- ・羽島市内3つの総合型地域スポーツクラブが主管団体として、毎年11月第3日曜日に市内の3か所の中学校を会場として、スポーツ及びレクリエーションの体験活動ができるイベントを実施している。

(3) チャレンジデー

- ・羽島市チャレンジデー実行委員会が毎年5月最終水曜日に市民に15分以上スポーツ及びレクリエーションを実施してもらうようにスポーツイベントを実施している。

(4) 羽島市ボッチャ大会

- ・羽島市スポーツ推進委員会が主管団体として、障がいの有無にかかわらず、ボッチャ競技を通して、交流できるスポーツ活動のイベントを実施している。

3. 中学校運動部活動の地域移行について

(1) 中学校運動部活動・育成会（保護者）活動の課題

【生徒】

生徒数や教職員数の減少により、部活動数が減少。自分に合った活動を選択できる幅が狭まる。特に、人数を要する団体種目の部活動成立が難しい状況になっている。

【保護者】

部活動・育成会活動の見守り当番等の負担が大きくなっている。

【教職員】

部活動指導に多くの時間を費やし、過重労働につながっている。競技未経験の顧問による指導により、競技力向上が難しいことや生徒の怪我や事故につながる恐れがある。

(2) めざす姿

- ① 生徒の自分に合った活動の選択肢・機会の確保
- ② 持続可能な部活動
- ③ 教員の負担軽減

(3) 推進の方向性

- ① 生徒の自分に合った活動の選択肢・機会を確保するための仕組みの構築
- ② 休日に地域でスポーツ活動を実施できる環境を整備
- ③ 充実した活動を生み出すための指導者の確保と指導者育成の仕組みの構築
- ④ 休日に教員が部活動の指導に携わらなくてよい環境の構築

(4) 移行状況

○R3～

- ・はしまなごみスポーツクラブ × 羽島市立竹鼻中学校

○R5～

- ・はしまモアスポーツクラブ × 羽島市立羽島中学校
- ・はしま南部スポーツ村 × 羽島市立中島中学校・羽島市立桑原学園

○R6～（予定）

- ・はしまなごみスポーツ・はしま南部スポーツ村 × 羽島市立中央中学校

4. ねんりんピック岐阜2025について

- (1) 名称 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会
- (2) 愛称 ねんりんピック岐阜2025
- (3) テーマ 清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪
- (4) 会期 2025年10月18日(土)～21日(火)
- (5) 実施競技 全56種目(交流大会31種目、ふれあいレク大会25種目)
※羽島市実施競技：ゲートボール競技
競技実施会場：FUKUJU スポーツパーク(予定)
- (6) 大会目標 ①「スポーツ・文化の振興」につなげる大会
②「健康長寿」の素晴らしさを確かめ合う大会
③「地域共生社会」実現の契機となる大会
- (7) 今後の予定 令和6年度 ねんりんピック岐阜2025プレ大会